

## 船舶インシデント調査報告書

令和4年12月21日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（舵脱落）
発生日時	令和4年6月5日 09時30分ごろ
発生場所	和歌山 <sup>ありだ</sup> 県有田市宮崎ノ鼻西方沖 紀伊宮崎ノ鼻灯台から真方位276° 2.9海里付近 （概位 北緯34° 04.7′ 東経135° 01.3′）
インシデントの概要	プレジャーボート <sup>ともかず</sup> 智和丸は、航行中、舵が脱落して運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和4年6月14日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 智和丸、1.5トン WK3-24768（漁船登録番号）、個人所有 第252-25604号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、釣りを終えて帰港しようとしたところ、操舵機を操作しても舵効が認められず、船長が船尾船底部を見て、舵板がなくなっていることに気付いた。</p> <p>船長は、機関を操作し推力調整により帰港を試みたが、本船が思うような方向に航行できなかったため、自力での帰港を諦めて118番通報した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇により最寄りの有田市箕島漁港へ<sup>えい</sup>航された。</p> <p>本船は、本インシデント後に上架された際、船長が、腐食により直径約6cmの鋼製中空軸の舵軸が折れていることを確認した。</p> <p>船長は、本船を平成20年9月に新造船で購入し、年に5回、上架して船底、推進器、舵の状況を点検しており、令和4年3月に上架点検を行った際、舵軸に錆が発生して同軸が若干細くなっていることを認めていたが、まさか折れるとは思っていなかったため、そのまま使用していた。</p>
分析	<p>本船は、航行中、腐食により細くなっていた舵軸が折れたことから、舵板が脱落して操舵ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船の舵軸は中空軸であり、上架点検時に同軸が細くなっていたこ</p>

	とから、船長の認識よりも腐食により強度が低下していたものと考えられる。
<b>原因</b>	本インシデントは、本船が、航行中、腐食により細くなっていた舵軸が折れたため、舵板が脱落して操舵ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船長は、舵軸の点検において腐食を認めた場合には、腐食の進行度合い等、当該箇所の状態を把握し、必要に応じて交換すること。</li></ul>